

第 198 回 現代の諸問題

1 環境問題

- ・先進国では、大気・河川・土壌などの環境汚染が大きな問題となった。
- ・1970年代からは、() が大きな問題として認識され始めた。

- ・1950年代、日本の熊本県で、() という公害が発生した。
- ・1962年、アメリカの生物学者() が『
』を
発表し、農薬が生態系に与える影響について警鐘を鳴らした。
- ・1972年、ストックホルムで() が開かれた。
→地球規模で環境を保全するため、国連環境計画 (UNEP) の設置が決定された。
- ・1980年、西ドイツで環境保護をかかげる政党() が結成された。
- ・1987年、国連の委員会で、「
」の重要性が指摘された。



水俣病訴訟

熊本県の水俣市にあったチツホは、メチル水銀を含む工業廃水を水俣湾に流していた。環境汚染による食物連鎖で起きた人類史上初の病気である。



レイチェル=カーソン

『沈黙の春』を読んだケネディ大統領が関心を示し、環境問題への関心が高まった。人間が自然をコントロールしようとする愚かさに警告を発した。



緑の党のロゴ

ドイツ統一後は、東ドイツの民主化運動を進めた同盟 90 と合同し、「同盟 90/緑の党」となっている。現在でもドイツ第4の勢力である。

- ・1985年、() の破壊が問題となり、() や砂漠化の危険が指摘されるようになった。
→1987年、モントリオール議定書で、温室効果ガスの規制を設定した。

- ・1992年、ブラジルのリオデジャネイロで() が開かれ、リオ宣言が出された。
→アジェンダ 21 計画により、21 世紀に向けた環境保全の原則を示した。
- ・1994年、気候変動枠組み条約で、二酸化炭素を削減することが決められた。
- ・1997年、京都会議で() が採択され、二酸化炭素など温室効果ガスの数値目標が設定された。
→2009年、コペンハーゲン会議が開かれたが、新たな目標は設定できなかった。
- ・2015年、地球全体の気温上昇を抑えるための() が採択され、アメリカや中国を含むほとんどの国が批准した。
→しかし2017年、アメリカのトランプ大統領はパリ協定からの離脱を発表した。



シュヴァルトツヴァルト

ドイツのシュヴァルトツヴァルトにある森は、「黒い森」として有名だったが、酸性雨の影響で枯れてしまった。環境問題の契機となった。



現在のチェルノブイリ

1986年にソ連のウクライナで起きた原子力発電所事故は、原子力と人間の関係を問い直す大きなきっかけとなった。現在は「石棺」で覆われている。



パリ協定

京都議定書以来、18年ぶりの気候変動に関する国際的枠組みである。196ヶ国が参加しているが、アメリカの離脱により岐路に立たされている。

2 女性解放運動

- ・第一次世界大戦後、各国で女性参政権が実現していった。
- ・1960年代の公民権運動以降、()も進んだ。
→男性中心の価値観を批判して平等を目指す()が起こった。
- ・21世紀になると、社会的な性差である()が課題とされている。

- ・1975年、メキシコで世界女性会議が開かれた。
- ・1979年、国連で女性差別撤廃条約が採択された。
- ・1985年、日本では男女雇用機会均等法が制定された。



イギリスの女性参政権活動家(サフラジェット)で、20世紀初頭に活躍した。過激な活動には批判もあったが、女性参政権実現に大きく貢献した。

パンクハースト

3 通商の自由化と地域統合

- ・20世紀後半には、コンピューター・集積回路(IC)・インターネット・携帯電話など、情報技術(IT)の革命的な進歩が起こった。
→()が進み、モノや情報が国境を越えて移動し始めた。
- ・北半球に先進国が多く、南半球に発展途上国が多い()や、南半球でも格差が広がりつつある()が問題となっている。
- ・諸問題解決のために、()の活動も重要になっている。

- ・GATTのウルグアイ=ラウンドで多国間交渉が行われ、サービスや知的所有権における関税引き下げのため、1995年に()が発足した。
- ・1995年、南米諸国の共同市場であるMERCOSURが発足した。
- ・アジア・太平洋地域の貿易自由化推進のため、() (環太平洋連携協定)の交渉が始まり、日本も参加して2018年に発効した。

- ・1989年、オーストラリア・日本・アメリカ・カナダ・ニュージーランド・韓国・ASEAN諸国によって、()が始まった。
- ・1993年、ASEAN自由貿易圏が結成され、関税の引き下げなどを行った。
→ASEANとEUの協力を促進するアジア=ヨーロッパ会合(ASEM)も始まった。
→ASEAN諸国と日本・中国・韓国で構成されるASEAN+3も始まった。

- ・1997年、サミットにロシアが加わり、()となった。
→2014年、クリミア半島問題でロシアの参加資格が停止された。
- ・G8に中国・韓国・インド・ブラジルなどを加えた()も始まった。

- ・1970年代に経済成長を遂げた韓国・台湾・香港・メキシコ・ブラジル・アルゼンチンなどをまとめて()という。
- ・2000年以降に高い経済成長を続けるブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカの5カ国を、頭文字を並べて()という。